

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 比島橋北バス停 846-2046
県議会控え室 :823-9524



日本共産党
県政ニュース
はた 愛

2023年5月21日 No.866

県・総務部＝「デジタル化で都会とそん色ない生活目指す」

地方、中山間の問題、人口減などの根本的解決になのるのは疑問

初、県議会 予算説明がスタート
 県政はどうなっているのか、ドキドキしながら手を上げ質問しています。
 特に気になるのは、もう国の政治では人口減少や都会への人口集中を止められないという問題を県はどう分析し、地方から人口流出を食い止めるようとしているのか。

人口減は少子化だけが原因ではない
 人口減の要因をいろんな角度から見ると必要があると思います。R3年の出生率、全国平均は、1.3です。高知は1.45で全国14位です。
 東京は全国で一番、出生率が低いのに唯一人口が増えているのです。つまり、東京は少子化なのに人口が増えている。一方、高知は出生率が中で、全国的には悪いわけではないのに人口減少率で見るとトップクラス。(R4年度、6位)
 分かることは、高知など地方の人口減少問題は少子化というよりも東京など都会への人口流出が大きな原因でもあると言いうことです。

仕事を求めて高知を離れる若者
 なぜ、都会に出ていくのか。若者の話でも、一番の理由は「賃金の格差」、高知が低賃金だからです。この格差を埋めることなくして、高知県の人口減も少子化問題も解決しないと思います。

デジタル化は魔法の杖ではない
 国の号令のもと高知県もデジタル化に邁進しています。便利になることを否定はしませんが、デジタル化で疲弊した地方の大事な課題が解決できるかといえるのでしょうか。

例えば、予算案には「デジタルに不慣れた高齢者が利用できる環境整備」とありますが、そもそもスマホを買えない人に支援はないとの説明です。マイナンバーしかり、持っていない人との支援サービスの格差は大きくなるばかりです。

県議選 力合わせた思い出

江ノ口川、舟からの訴え！



「恵まれた自然環境を活かし安全な再生可能エネルギーを自らが生み出せる高知県にしていこう！」と、川からマイクで訴えました。

動画再生、1800回越え

元漁師さんが舟を貸してくれお礼で漕ぎまくりました。今は水や太陽や風から電気を作れる時代です。
桜舞う沿道から「何しゆうがー」と驚きと声援をもらいました。

おたまじゃくし

懐かしさを感じた日曜日、息子の同級生が公民館で古着から新しい「価値」を作るのだと、リサイクルの世界を教えてくれた。古着を細く切り指で編む「裂き編み」、参加したお年寄りも若者も皆が楽しかった。

共に PTA で活動した仲間、母達からの久しぶりの誘いだった、保育園時代の思い出に沸く。

今や 20 代の若者の間では、自然環境を大事に生きることがブームなのだ、視野を広げてもらった。

江ノ口川で、“えっちらおっちら” おんちゃん和舟を漕ぎ訴える方法とは違うが、若者が環境に意識が高いという事が嬉しかった。23 歳の息子も保育園時代の同級生の取り組みを聞いて、懐かし気だった。

高知県は、県立学校の屋根に太陽光パネルを整備する方針を打ち出した。学校から整備を始める点はドンピシャに良いと思う。県立に限るとの説明だったが、「太陽光発電など、国は市町村向けの支援を示している」とも聞いた。市町村の小中学校へ広がりをつくっていく為に市民や若者が主人公になる太陽光発電運動が大事ではないかと感じた。若者が未来を描く時だ！

無料 生活・法律相談会

5月21日 午前10時～12時

新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士

毎月・第3日曜日 開催中！